

金子耕式著

「家族に贈るとっておきの話」Vol.4

評／熊久保 公義 (かまい聖書教会牧師)

この時代に  
子育てする者へのヒント

『家族に贈るとっておきの話』第四巻は、現代の家庭の状況（便利、多忙、大人の権威喪失等）に光を当てつつ、あるべき子育てのヒントを与えてくれる一冊です。育児について書かれた本は古くても良いものがありますが、特に今日的な課題にも触れている本書は読みやすく、すぐに実践できるヒントが詰まっています。

「現代の親たちへ」の章では、便利になりすぎた環境の中で意識的に子どもたちに役割を与えることの大切さを述べています。全てが整えられた環境を提供することよりも、挑戦させ自ら困難に打ち勝つ経験を積ませることが、成長にとって良い影響があることを分かりやすく伝えていきます。「幸せな家庭」の章では、忙しい生活の中でも時間と感動を共有することの重要性について例を挙げながら説明しています。「いじめ」や「ひきこもり」等の難しい課題についても触れられており、著者自身の体験談を交えながら解決の糸口を提示しています。思春期の問題も取り扱われていますから、どの世代の親にとっても学ぶところの多い本でしょう。

私は4歳と2歳の男の子を育てる父親です。兄弟とはいえず子どもたちは全く異なる性格を持っており、一人は何ごとにも慎重で失敗を恐れる

タイプ、もう一人は我が道を突き進み怪我をしてようやく止まるタイプです。一日中「失敗してもいいから自分でやってみよう!」「ストップ!キミはそれ以上やったらダメ!」と、二人に対する別々の言葉が我が家に響き渡ります（我が家を超えてお隣さんにも届いていることでしょう）。どんな子でも簡単にうまくいくマル秘テクニクなどないと痛感させられます。夜には夫婦のため息をつきながらの子育て緊急ミーティング（反省会）を開くこともしばしばです。

そのような我が家で、本書を読んでから実践し始めた一つの取り組みがあります。家族揃っての楽しい時間を持つということです。夕食後、おもちゃの線路をみんなで繋げて電車を走らせたり、子どもたちが布団に入る前に今日一番うれしかったことを全員で発表し拍手をし合ったり……。大したことではありませんが、家族で時間と感動を共有する時、子どもたちが心から喜んでいる様子が伝わってきます。こうした時間は、互いに違う個性であっても協力し合えば素晴らしい結果が待っていることを体験する時ともなっています。

本書は教会の牧師や教会学校の先生方にもお勧めです。私達の教会では3歳児親子教室を開いています。親子教室のプログラムの一つとして子育てについて考える短い時間を持っているのですが、そのような時間に取り上げる本として、短くテーマごとに区切られている本書は最

適です。便利になった現代でも、子育てには様々な困難があります。本書を開く時、きつと解決のヒントを得られることでしょう。

好評発売中

ファミリー・トークを  
じっくり、たっぷり  
お読みください



「家族に贈るとっておきの話」Vol.4

金子耕式著  
四六番変形上製本 151ページ  
1500円＋税